

## 鬼北の夏、安森洞で涼やかに

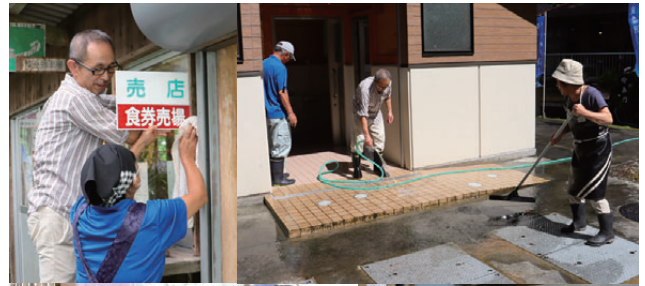
◎安森洞そうめん流しオープン



7月9日、安森洞そうめん流しがオープンしました。コロナ禍の中でも、安心して利用いただけるように、安森鍾乳洞保存会の会員12人が、オープンに向けた準備に奮闘。毎年、初日に必ず訪れる常連さんもあり、町内外から家族連れが足を運びました。

統計開始以来、最も短い梅雨、そして最も早い梅雨明けを記録した四国地方。雨の天気予報だったオープン当日は、幸運にも爽やかな青空に恵まれ、そうめん流し日和となりました。

訪れた人たちは、安森鍾乳洞の清流に乗って流れてくるそうめんを、シイタケ出汁の効いた甘いつゆとともに堪能していました。



▲準備に余念がない保存会員の皆さん



▲テレビ局・新聞社も大注目！



▲温かい気配り

## 地域の実情に即した輸送サービス実現へ

◎地域公共交通会議



7月20日、令和4年度第1回鬼北町地域公共交通会議が、近永公民館で開催されました。

会では、「三島地区における交通空白地自家用有償旅客運送事業」について協議。三島地区住民有志の方をドライバーとして、宇和島自動車バス停から一定の距離以上離れた「交通空白地域」に住む方を、最寄りのバス停や診療所、郵便局などへ輸送するサービスの実証実験が、12月から始まる予定です。

地域の実情・需要に合った公共交通網の形成や、既存のバス・タクシー会社との共存共栄が模索されています。

## オンラインで楽しむ国際交流

◎お鬼楽塾 国際交流デー



7月12日、鬼北町公営塾“お鬼楽塾”で、国際交流デーが開催されました。

スウェーデン人とベトナム人のゲストをオンラインで迎え、各国の高校生活や食べ物などの文化の違いを紹介。海外の高校は制服がなく、ピアスや染髪も自由で、夏休みは3カ月もあるのに宿題がないことなど、日本とは全く異なる文化に、北宇和高校生たちは目を丸くしていました。

前日に手作りした、各国のおやつを頬張りながら、楽しい国際交流の時間を過ごしました。